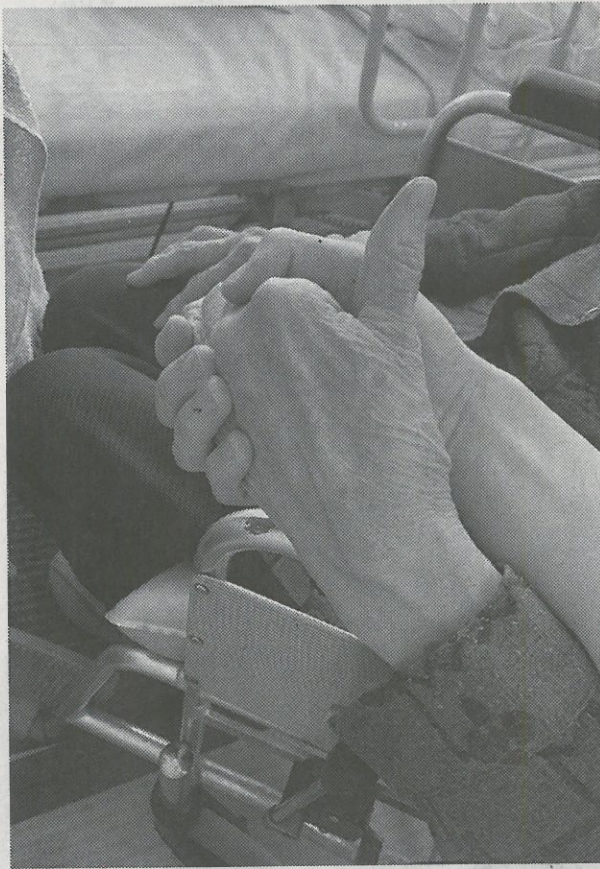


# 見えないからこそ見える介護

## 広島県立黒瀬高等学校

### 福祉科 3年 正藤 風花



私の夢は介護福祉士として働くことである。来年1月の国家試験合格に向けてワクワクしながら勉強をしている。広島県立黒瀬高等学校福祉科は、介護福祉士の受験資格を得ることができる専門学科である。福祉・介護の基礎知識を座学や校外の実習などを通して学んでいる。

「見えないからこそ見えるものがある」私にとってひとつの大切な学びができたのは2年生の夏の介護実習のことである。このことは実習で担当した施設利用者Mさんから教わった。

Mさんはほとんど両目が開かない病気を患っている。お話が大好きな方であるが、目が見えないことで人と話すことを諦め、消極的な生活になっていた。何か支援できることはないかと日々自問自答を繰り返し、まずはたくさん関わら

うと決めた。会うたびに「正藤です」と名乗り、少し大げさな表現をしながら言葉を返したり、手に触れるなど、安心してもらえるように工夫した。昔のことを思い出して楽しい気分になってもらいたいと思い、一緒に色とりどりの花火の絵を描くことにも挑戦した。

実習最終日、ほんの小さな支援しかできなかつたと不甲斐なく思いながらMさんのもとにあいさつに行ったとき、私は驚いた。Mさんが一生懸命目を開いて私を待っていてくださっていた。目を合わし言葉を交わしている喜びで涙が止まらなかった。「あなたのことずっと忘れないよ」とMさんは涙を流しながら私を抱き寄せてくださった。

帰り道、涙を流したMさんが思い浮かび、ふと気付いた。「私の思いを心の目で感じ取ってくださったのかもしれない」同時に、支援できなかったという思いに少し光が差した。「相手に思いを寄せることもひとつの支援かもしれない」私はうれしい気持ちになった。介護の奥深さを知り、ますます介護が好きになった。

私は、介護を受ける人に、安心できる温かい環境づくりができるよう、見えないことにも目を向けることができる介護福祉士を目指したい。

# 意見体験発表

## 育

身寄りは、地元の川を舞台にした方、又ー川下り、県水産試験場や漁協と連携したサケ科魚類の採卵やアユの標識放流など校外実習も充実している。動画の中で

## 産

商品になった鮎魚醬および鮭魚醬、そして動画で紹介しているアユのオイル煮がその一部である。本校で生産したアユを取り上げ、出荷および冷凍

の水生科の活動などを紹介したいと生徒たちは動画製作に取り組んでいた。



## 家庭

に工夫する力、計画的に取り組み力、やり遂げた後の達成感を知り、次にチャレンジする力、やればできるという実体験からくる自信などである。これら、生徒が3年間で体得したものは、卒業後の生徒にも大きな力となっているようである。

## 総合

自己の在り方生き方を振り返る他、伝統産業である足袋作りを活性化させるための方策を考察する「食・グルメ」「観光」などの、今後の探究活動につながるような学習活動

発たれ取